

1 4. 新潟県におけるてんかん診療連携—西新潟中央病院— (2021 年)

国立病院機構西新潟中央病院副院長 遠山 潤
国立病院機構西新潟中央病院神経部長 福多真史

まとめ

- 2020 年度の西新潟中央病院の診療実績は、COVID-19 のパンデミックの影響を受けて、新規患者数、とくに県外、海外からの患者数の減少、手術件数の減少があった。
- 今後、Web を用いての啓発活動、教育活動、各病院との連携が重要になってくるものと思われる。

1. 診療実績

現在当院のてんかんセンターは、2021 年度 4 月から小児神経科医 7 名（てんかん専門医 2 名）、精神科医 1 名（てんかん専門医）、脳神経外科医 5 名（てんかん専門医 4 名）、脳神経内科医 1 名の 14 名で診療を行っている。てんかんの診療機器としては、1.5 テスラ MRI、SPECT、MEG、ビデオ脳波記録 5 台などで、例年と変わりはない。2021 年 2 月に脳波検査のサーバーシステムが新しいものに更新された。

2020 年度のてんかん新規患者数は 2015 年度からの統計で最も少ない 444 名であった。原因は COVID-19 のパンデミックによる受診控えがあると思われる（図 1）。

2020 年度の初診時診断では、2019 年度と比較してその割合に著変はなく、2020 年度の非てんかん症例は 139 名（31.3%）で、これも 2019 年度とほぼ同様の割合だった（図 2）。

紹介元の診療形態は開業医、病院の中で脳外科、脳神経内科、精神科、小児神経科などの神経専門医からの紹介、神経専門医以外の医師からの紹介の 3 つのパターンでの割合がほぼ例年通りであったが、2019 年度と同様に開業医からの割合が 38.1% と最も多かった（図 3）。

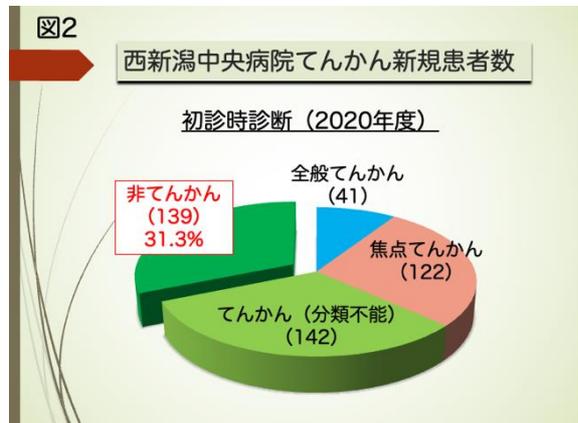
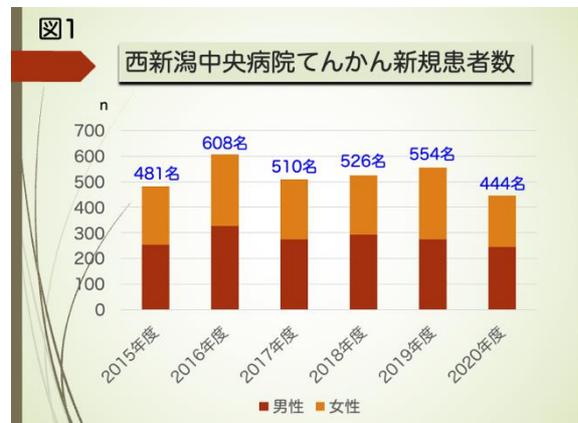


図3

西新潟中央病院てんかん新規患者数

紹介元の診療形態 (2020年度)

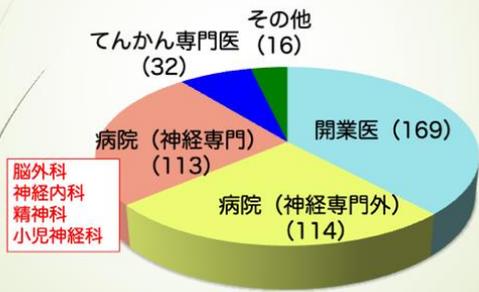
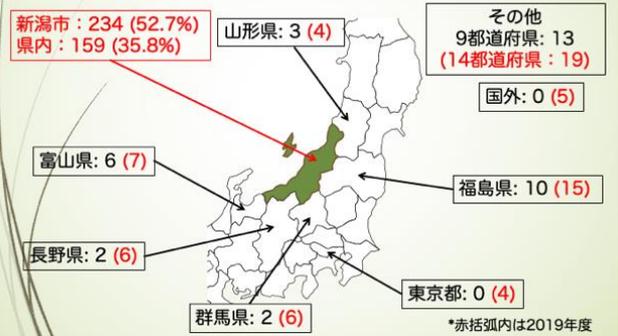


図4

西新潟中央病院てんかん新規患者数

紹介元の地域 (2020年度)



紹介元の地域は新潟市が 234 名 (52.9%)、新潟県全体では 393 名 (88.5%) で、割合としては 2019 年度とほぼ同等であった。しかし、県外からの紹介は 2019 年度に比較してほとんどの県で減少していた。また国外からの紹介例も 2020 年度は 0 であった。これらの結果も COVID-19 のパンデミックによる影響が反映していると思われる (図 4)。

2020 年 1 月から 12 月までの当院での手術件数は 143 件で、例年と比較して大きな変化はなかったが、てんかん外科件数としてはこの 5 年間で最も少ない 44 件であった。原因は視床下部過誤腫に対する定位温熱凝固術の件数が 2020 年は 10 件と例年の約半分で、患者のほとんどが他県や海外からの紹介であることが原因と考えられた。(図 5)。

図5

西新潟中央病院てんかん外科件数



2. 教育・啓発活動

例年、臨床検査技師向けの研修会、保健師向けの研修会、学校教師、福祉課職員向けの研修会、医師向けのセミナー、看護師のための研修会が行われていたが、2020 年度はコロナ禍のためすべて中止になった。2021 年度は Web での講演会に切り替えて、オンデマンドを使つての配信などを行っている。Web 講演会の視聴者数は現地開催での講演会よりも多いことがほとんどで、今後しばらくはこの形態での教育・啓発活動が中心になっていくものと思われる。

3. 新潟大学および地域の基幹病院との診療連携

2015 年 10 月から新潟大学脳神経外科との診療連携がはじまり、高磁場 MRI (3 テスラ、あるいは研究用の 7 テスラ)、高密度脳波計検査、FDG-PET 検査などを大学に依頼して、てんかん外科の術前評価を行っている。とくに 3 テスラ MRI と FDG-PET は焦点てんかんにおいての有用なモダリティで、その結果により側頭葉切除を決めたり、頭蓋内電極留置の範囲を決定したりする症例も散見された。

コロナ禍がなかなか収束しない現状では、Web を使つての会議、講演会、検討会などを行うことによって、広い面積をもつ新潟県において、県北部の県立新発田病院、中越地区の長岡赤十字病院、魚沼基幹病院、上越地区の県立中央病院などを地域の基幹病院として、今後

さらなるてんかん診療連携の強化をはかる予定である。

4. 今後の課題と改善点

新潟県内において、各地域の基幹病院とのてんかん診療連携強化のために、窓口となる医師、あるいは事務担当を決めて、患者の紹介、逆紹介をより円滑に進むようなシステムの構築を検討する。また隣県、とくに山形県の日本海側、福島県会津地方、富山県、長野県北部については新潟県内の各地域の基幹病院、あるいは当院へのアクセスもそれほど悪くないので、てんかんの治療難民が出ないように、Webによる市民向け、医師向けに積極的にてんかん診療の啓発活動を行う。

*てんかん治療連携協議会委員

新潟県福祉保健部障害福祉課長 島田久幸

新潟県精神保健福祉センター所長 阿部俊幸

新潟大学脳神経外科助教 平石哲也

日本てんかん協会新潟県支部代表 矢部日出海

西新潟中央病院副院長 遠山潤

西新潟中央病院てんかんセンター長 福多真史